



「わっつ」は当協議会の愛称です。  
人権ってなに？の「What」と人権の輪が「わっつ」  
広がってほしい願いが込められています。

# 箕面市人権啓発推進協議会

ニューズレターVOL13  
2015年3月発刊

〒562-0014 大阪府箕面市萱野1-19-4 箕面市萱野中央人権文化センター内  
TEL / FAX 072-722-2470  
E-mail [jinken-jimu-minoh@silk.ocn.ne.jp](mailto:jinken-jimu-minoh@silk.ocn.ne.jp)  
<http://www1.ocn.ne.jp/~minohwat/>



気仙沼市大島国民休暇村仮設住宅にて

## 人権を守る節目の年

箕面市人権啓発推進協議会  
会長 仲野 公

毎年12月12日の漢字の日に日本漢字能力検定協会がその年の世相を表す漢字の公募を行い、京都清水寺の貫主が書かれますが、昨年は「税」と発表されたように4月に消費税がアップされ、政治家の政務活動費など税金の使われ方について議論を呼んだ年でした。

また、ソチオリンピックでの日本人の活躍をはじめ、日本人が3人もノーベル物理学賞を受賞されるなど、明るいニュースはたくさんありましたが、一方では都議会議員のセクハラ発言をはじめヘイトスピーチや児童虐待、そして箕面でも公共施設の掲示板に在日外国人を蔑称する差別落書きが発見されるなど人権を侵害する事件も多く発生いたしました。

また、土砂災害、火山の噴火、ゲリラ豪雨など自然災害も多く発生し尊い人命や貴重な財産を奪われた年でもあったかと思えます。

そうした中、昨年主な活動といたしましては、ヒューマンネットワーク事業として冊子「みのお21人ものがたり」の発行をはじめ学校や団体の人権研修への講師派遣、差別落書きに関する要請活動、地区協議会や各部会活動などによる人権啓発に取り組んでまいりました。

また、一昨年に引き続き東日本大震災の被災地を訪問してまいりましたが、景観を壊す防波堤の建設を地元住民は望んでいない話や、夫を津波で亡くし障がいのある子と必死で生活している話、重度障害の青年が震災のショックでパニックが年々ひどくなり母親に暴力を振るう話など涙ながらに訴えられた切実な思いをお聴きし震災の爪痕は根深く無残なものであると心を痛めたところであります。

こうした現状を訪問した者だけに留めるのではなく一人でも多くの人達にお知らせするのも私達の務めであると考え、昨年12月に開催された「人権フォーラム」や「新年互礼会」での報告、「被災地の食材を楽しむ会」への参加など取り組んでまいりました。

年頭早々、イスラム国の過激派集団による日本人拉致殺害、和歌山県紀の川市の小学生殺人、福井市の17歳の母親による乳児遺体遺棄など人権を侵害する事件が多く発生しています。

今年は阪神淡路大震災から20年、そして同和問題の解決は行政の責任であり国民的課題であると謳われた「同和対策審議会答申」が出されて50年、先の第二次世界大戦が終結して70年といろいろな面で節目の年を迎えています。

今年こそ平和で安全安心、そして人権尊重の差別のない明るい年となりますよう多くの仲間みなさんと共に人権啓発活動に取り組んでまいりたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。

# 街に出よう！ ヒューマン・カルチャー・ツアー 報告



市の若手職員と歩いたディープな大阪のまち探訪シリーズです。1回目は生野区、2回目は大正区、3回目は西成区界隈。それぞれ見たまま、感じたままにレポートしてもらいました。



## ◀ 在日コリアンのまち 鶴橋 ▶

大阪に住んで10年以上になるが、初めて訪れた「コリアタウン」。個人的には観光客を意識した店が増えた御幸通商店街よりも、国際マーケットのひしめき合ったごちゃごちゃ感に色濃い異文化を感じ、わくわくした。

ハヌル子ども会の子どもたちはとても元気で、一緒にすごくをして遊んだ。先生から、その

子たちが1年生から漢字検定を受けると聞いて驚いた。見た目には日本の子どもと変わらないのに、勉強の内容や量が全く違うのだ。

この子たちが在日としてどんな思いを持っているのかが気になった。日本で生まれ育って日本語を話すけど、国籍や名前、習慣はみんなと違う…。この現実を、子ども心にどう感じているのだろう。

私はたまたま日本人で日本生まれ日本育ちだが、もし他国で生まれ育っていたとしたらどうだろう。やはり自分の文化とその国の文化の違いに戸惑い、違和感、心細さを感じつつも、自国の文化を守っていききたいと思うのではないかな。

どうしてもこのご時世、歴史問題や拉致問題などネガティブなイメージがつきまとうが、個人間の出会いにそういう偏見感情を持ち込みたくない。世論に流されず、目の前の人を一人の人間として大切にできる人になりたいと改めて思った。

池田 あずさ

さて、次の言葉を聞いて、皆さんどう思われますか？「差別解消のために相手を理解するというけれど、本当に理解なんか出来ない。」これは、今回お話を伺ったKさんの言葉です。それだけを聞くと、当事者からの強い拒絶に聞こえ、そればかりが気になって、話を全て聞き終えてすらその言葉を理解出来ませんでした。しかし、自分なりに解釈していくうちに、少しですが、「こういう考え方もあるんだな」と思えるようになりました。

たとえば、先祖の供養で夜中に踊るエイサー、そうした文化圏ではない、知らない人ばかりの土地でやったら、どうでしょう。夜中に騒げば、おそらく多くの人が「近所迷惑だ！」とって憤慨します。知らない人にとって、エイサーは「理解されない文化」の1つです。このように身の回りには理解できない文化はあります。嫌いな私にとっては、虫を食べる食文化なんかは最たるものです。

文化は、その人の考え方や生活に影響します。だからこそ、その人が育った文化を理解出来ないということは、その人を理解出来ないことにもつながってきます。でも人はそれぞれ自分の考えを持っているからこそ、互いが理解出来ないこともあります。その理解出来ないことを数の原理で押しつけるのが「差別」です。だからこそ、Kさんはその理解出来ないお互いの「違い」を「共有」することが大事だと言いました。

その日、研修最後に交流会をしました。参加者でおいしいご飯を食べて、オリオンビールを飲みながら、沖縄の音楽に合わせて、歌って踊って、とても楽しい時間でした。人前で踊ったりなんて私の柄じゃないなと思いつつながら、それも気にならなかった一瞬でした。そんなとき「ああ、違いを共有するってこういうことなのかなあ」ってちよっぴり感慨深かったです。

竹内 亜衣

## ◀ リトル沖縄 大正 ▶

私は長く大阪に住んでいますが、大正区を訪れたのは今回が初めて。研修前、個人的にはあまり沖縄に縁がなかったので、「沖縄と人権」と聞いて、あまりピンとこなかったのが正直なところでした。しかし、今回のツアーでは「沖縄」だけでなく、「人権」についても、いろいろと発見がありました。その中で一番印象深かったことをお話したいと思います。



中学生まで過ごした大阪の街。新今宮駅付近にあったあいりん地区。廃線となった南海天王寺支線の車窓越しに何度も見た今池の三角公園。古い記憶をたどりながら、水野阿修羅さんの話を伺い、雨中のなか歩きました。



今回のツアーの起点は「あいりん労働福祉センター」でした。コンクリート床の1階は体育館ほどの広さがあるものの人影はまばら。上の階に職安はありますが、仕事の斡旋は無く、毎朝業者が日雇労働者を求めてここに車で乗り付け、交渉が成

立すれば現場に出向くという仕組みになっています。今の相場は1日の日当が1万円、そこから3千円の宿泊費を引かれます。10日働けば7万円というわけではなく、雨で仕事がなくとも宿泊費をひかれ、天気如何では収入どころか借金を作りかねないという不安定な就労です。2階には失業手当の支給のための窓口フロアがあります。日雇就労が困難な55才以上の人向けに大阪府市が共同で就労対策事業を行い、その事業の一環で10名ほどの男性がその床を清掃しています。午後5時から支給される大阪市の宿泊シェルターのチケットを待って、何人かの人々が床に横になっています。ここも午後6時には閉鎖され、寝泊まりはできません。

「あいりん労働福祉センター」近くの今宮中学校周辺。小中一貫校として改築中の学校の塀には、水をまく装置があります。路上生活者が学校の横で寝泊まりすることができないように、路上に向かって散水するためです。好きで路上で暮らすものはいません。話し合っ解決することだってできるという水野さんの言葉が印象に残りました。

最後に、今回に企画を練り、準備していただいた箕面市役所の職員の皆さんに感謝します。

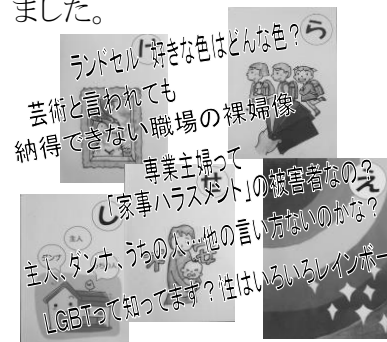
潟山 徹



## 楽しみながら学ぶ「Jかるた2014」

男女協働参画啓発研究部会長 森 幸子

子どもから大人まで楽しめるかるたですが、犬棒かるた、ことわざかるた、鉄道かるた、恐竜かるた、妖怪ウォッチかるたなど多くの種類のかるたを見かけます。同様に、ジェンダーかるたも実はたくさん作られているのですが、部会員から「こんな、かるたもあるんだ〜」と面白がってもらえるオリジナルかるたを作りたいという声が上がリ、みんなで取り組みました。



この「Jかるた2014」は、表が絵札、裏が読み札とその解説になっているので、遊具としてだけでなく啓発グッズとしても活用できます。

平成27年度人権協総会の会場で展示しますので、手にとって見てくださいね。

是非とも、楽しみながらジェンダーを学ぶツールとして職場や地域、学校などのいろいろな場面で活用していただきたいと思います。



ジェンダーとは？  
生物学的性別ではなく、いわゆる「男らしさ、女らしさ」といった言葉で表される社会的・文化的に形成される性別のこと。

### 報告とお礼

1月24日(土)に開催しました「わっと新年互礼会」では、参加された全員の方から「ゆめ風基金」への義援金をいただきました。総額79,561円集まりましたことをご報告するとともに、ご協力いただきましたことに心より厚くお礼申し上げます。



人権協は、「ゆめ風基金」をとおして、東日本大震災で被害を受けた障害者市民の方々の救援を続けています。

# 人権意識や 人権感覚は 人間として生きていく上での「身だしなみ」



箕面市人権啓発推進協議会事務局長  
ヒューマンネットワーク 21 代表 前田 功

目を覆いたくなるような差別的言動や事件が後を絶たない近年、またぞろ「ヘイトスピーチ」なる暴力的な差別扇動が大都市を中心に頻発し、名誉毀損事件として在日の方たちを中心に訴訟も起こされており、多くの心ある人たちが心底よりその訴訟を応援し「ヘイトスピーチ」に対する抗議活動を行っています。

箕面市人権啓発推進協議会も、このヘイトスピーチ事象を問題視し、ことあるたびに問題提起を行ってきたところですが、昨年11月に箕面市内の公共施設で最も恐れていた事件が発生しました。

それは、ヘイトスピーチに触発されたと思われる市民が韓国・朝鮮人の人たちに向けて悪意を持って書かれた「差別落書き」事件です。

市役所のロビーにも障がい者に対して差別的な落書きが書かれたことも発見されています。

ここではその内容等は詳しく申しませんが、人権協はその真相等の究明を早急に行うように箕面市並びに箕面市教育委員会に対して「要請書」の提出を行いました。

## 身だしなみの獲得

冒頭で「人権意識や人権感覚は人間としての身だしなみ」と書きましたが、人を思いやるあたたかさや優しさ、力強さ、違いを違いとして認めあう態度、間違いに気付いた時は率直に認め、やり直すことができる勇氣などが「人間としての身だしなみ」ではないでしょうか。

このような身だしなみを自分自身で獲得するために人権啓発活動はあります。どこかのかわいそうな差別を受けている人のために人権啓発はあるのではありません。自分自身が人間として生きていくために自分で学習を積み重ねたり、当事者の話を聴いたり、現地に出向く経験や体感を通して獲得するものであると思います。



## ヒューマンネットワーク21の活用を

人権協には人権人材バンク「ヒューマンネットワーク 21」があり、地域や職場、学校で人権の確立に向けた活動に深くかかわった人、さまざまな人権問題の知識やスキルを持っている人、障害や国籍、性別、職業、出身などにより差別された歴史や経験を持つ人などに登録していただいています。

さまざまな分野の研修や講演会、学習活動への講師派遣だけでなく、企画立案の段階から人権啓発活動をサポートしますので、まずは人権協事務局にご相談ください。

人権の街“みのお”づくりの主体である市民の応援団として、「ヒューマンネットワーク 21」を是非ご活用ください。



聖母被昇天学院高校

## 若手 新人スタッフを紹介します

来年度よりみのお市民人権フォーラムの事務局を引き受けることになりました。そのため、この3月より事務局員に加わった新スタッフを紹介します！



生粋の箕面っこ！  
上田幸弘です！小学生の頃はらいとぴあに  
入り浸っていました！（笑）  
恩返しの気持ちでがんばります♪  
よろしくお願いします！

## 編集後記

今年度も残りわずかとなりました。各啓発研究部会や各小学校区地区協議会の皆様には、このニュースレターとともに平成26年度活動及び会計報告書用紙をお届けしますので、期日までに提出いただきますようお願いいたします。また、常任幹事の皆さまには、平成26年度・27年度の2年間の任期となりますので、来年度も引き続きご協力いただきますようお願いいたします。(M)